

# 令和4年度 事業実施状況報告書（事業報告書）

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1 会員総会

### (1) 令和4年度 定時会員総会

1) 日時 令和4年6月16日(木) 午後1時30分

2) 場所 全酪連役員会議室 東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館2階

#### 3) 議事

##### 第1号議案

令和3年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書の承認に関する件

##### 第2号議案

令和4年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法の決定に関する件

### (2) 令和4年度 臨時会員総会

1) 書面決議日 令和4年9月28日(水)

#### 2) 議事

##### 第1号議案 欠員理事の選任の件

選任(理事)	退任(理事)
折原敬一	高橋 正(副会長)
菊池淳志	迫田 潔(専務理事)
迫田 潔	強谷雅彦(理事)
細川正文	荻谷雅行(理事)

## 2 理事会

### (1) 令和4年度第1回理事会

1) 日時 令和4年5月26日(木) 午後1時30分

2) 場所 全酪連役員会議室 (酪農会館2階)

#### 3) 議事

##### 第1号議案

令和4年度定時会員総会議事に付すべき事項の決定の件

### (2) 令和4年度第2回理事会

1) 書面決議日 令和4年9月12日(月)

#### 2) 議事

##### 第1号議案

令和4年度臨時会員総会に付すべき事項の決定の件

(3) 令和4年度第3回理事会

1) 日時 令和4年9月28日(水) 午後1時30分

2) 場所 全酪連役員会議室(酪農会館2階)

3) 議事

第1号議案

役員選任に伴う副会長並びに専務理事(業務執行理事)の選定の件

折原敬一 副会長(就任)

菊池淳志 専務理事(就任)

(4) 令和4年度第4回理事会

1) 日時 令和5年3月10日(金) 午後1時

2) 場所 全酪連役員会議室(酪農会館2階)

3) 議事

第1号議案

令和4年度事業実施状況の報告に関する件

第2号議案

令和5年度事業計画書及び収支予算書に関する件

第3号議案

理事の人数増に関する件及び定款変更に関する件

第4号議案

任期満了に伴う役員選任に関する件

第5号議案

常勤の理事に対する報酬等の支給に関する件

第6号議案

会員の異動に関する件

第7号議案

令和5年度定時会員総会の日時及び場所並びに議事に関する件

**3 監事監査(令和3年度期末)**

(1) 日時 令和4年5月16日(月) 午後1時30分

(2) 場所 酪農会館会議室 東京都渋谷区代々木1-37-2

**4 令和4年度事業概況**

新型コロナウイルス感染症対策は一部緩和されたものの、引き続き感染者及び濃厚接触者の行動制限が措置されていることから、特に集合研修を基本とする「酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)」の開催は制約を受けることとなった。各事業の実施状況については以下の通りである。

**(1) 一般事業**

1) 酪農ヘルパー要員確保と事業の普及推進活動

ア. 利用組合の酪農ヘルパー要員の確保を支援するため、当協会のホームページを活用して酪農ヘルパーに関する情報を積極的に発信するとともに、利用組合の要請に基づいて「酪農ヘルパー募集」の求人情報を掲載した。

イ. 都道府県団体や利用組合の活動に関する情報を提供するため、当協会ホームページに「ヘルパー組合の活動紹介コーナー」を設けて随時更新するとともに、(一社)全国酪農協会が発行する全酪新報、全農酪農経営体験発表会、全国酪農青年女性酪農発表大会及び全国農業新聞などに対して酪農ヘルパーに関する広告を掲載した。

## 2) 会長表彰事業

都道府県団体及び利用組合などの推薦に基づき「酪農ヘルパー事業に貢献した団体や優れた技術を持つ酪農ヘルパー等」に対して、毎年12月に開催する酪農ヘルパー事業中央研究会のなかで「会長表彰」を実施している。

今年度は、酪農ヘルパー事業の推進に貢献のあった団体として1利用組合、技術に優れ就業経験5年以上の酪農ヘルパーとして専任ヘルパー12名を表彰した。また、表彰式の模様は昨年を引き続き今年度もwebを利用して配信し、YouTube動画として編集し当協会ホームページから視聴できるようにした。

## 3) 会員団体等との事業活動連携

ア. 会員団体等が主催する研修会や会議に対して、当協会職員などを講師として派遣し、酪農ヘルパー事業に関わる情勢報告やヘルパー要員確保などに関する意見交換を行っている。

① 11月16日 農林水産省中央畜産技術研修会(参加者34名)

② 3月3日 栃木県酪農ヘルパー研修会(参加者50名)

イ. 会員団体などに対して、酪農ヘルパー事業の推進情報として「メールマガジン」を定期的に発信した。

ウ. 12月7日に開催した酪農ヘルパー事業中央研究会の内容を中心に、今年度の活動を「酪農ヘルパー情報」にまとめ、年度内に発刊した。

エ. 酪農ヘルパーへの就業促進に資するため、利用組合等が主催する学生インターンシップ受入時の「PCR検査費用」を支援し、検査実施人数は4利用組合・45名(192千円)となった。

## 4) 酪農ヘルパーの養成活動

ア. 3年以上の経験を有する酪農ヘルパーを対象として「酪農ヘルパー中級者養成研修」を1月の第3週、北海道農業協同組合学校(JAカレッジ)において3年ぶりに実施し、北海道地区の7名が参加した。

イ. 今年度の新たな取り組みとして、新人酪農ヘルパーの定着化のキーマンである中堅酪農ヘルパーを対象として「中堅ヘルパー指導力向上研修」を企画し、札幌(11月・7名参加)・熊本(1月・8名参加)・東京(2月・6名参加)の3会場で開催した。この結果については検討会を開催し今後の施策について協議した。

ウ. 酪農ヘルパーの職業体験として7月、八ヶ岳の牧場において「酪農体験実習」を2名の参加を得て実施した。

#### 5) 業務中の傷害時補償制度の推進

臨時ヘルパーの出役中(往復途上を含む)の事故傷害に対応するため「臨時酪農ヘルパー傷害保険(普通傷害)」の加入手続き及び加入促進を図った。

参加 都道府県数	利用組合数	加入 ヘルパー人数	保険料実績 総額(千円)
37	232	546	1,916

#### 6) 酪農技術養成研修時の傷害保険料の補助(当協会主催に限る)

研修期間中の事故傷害及び損害補償に対応するため、国内旅行傷害保険に加入し保険料については全額当協会が負担している。今年度は初任者研修(8名)、中級者養成研修(7名)、酪農体験実習(2名)、学生インターンシップ(5名)の実施となった。

### (2) 酪農経営支援総合対策事業「酪農経営安定化支援ヘルパー事業」

(独立行政法人農畜産業振興機構 公募事業)

酪農ヘルパー要員の確保育成、酪農家の傷病時利用の負担軽減及びヘルパー利用組合の組織強化など、酪農ヘルパー制度を総合的に推進し、持続可能なゆとりある酪農経営の実現に資する目的で以下の事業を推進した。

#### 1) 酪農ヘルパー利用実態調査の実施

酪農ヘルパー制度の充実を図るため、令和4年8月1日現在の酪農ヘルパー利用組合の事業概況及び令和3年度の酪農ヘルパー利用実績に係る調査を実施した。この結果は速報値(未定稿)として12月に発信し、確定値については「酪農ヘルパー利用に関する資料(冊子)」としてまとめ、会員、都道府県団体、利用組合及び関係機関に対して年度内に配付した。

#### 2) 酪農ヘルパー事業の広報活動

ア. 当協会のホームページでは「酪農ヘルパーの具体的な仕事内容」や「就業に至る流れなど」を紹介するとともに、各地の酪農ヘルパー募集情報や学生インターンシップの受入情報などについても発信している。また、酪農ヘルパー要員の確保や職業認知度の向上に資するため、学生インターンシップの募集ポス

ターを作成し各地の農業大学校、動物関連専門学校及び都道府県団体など約120先に配付した。

イ. メディアへの対応としては、酪農ヘルパーの職業認知度向上の一環として農業スタイルの多様化に伴い、特に若年層のアクセス数が期待できる農業系メディアサイトに記事広告として掲載するとともに、酪農ヘルパーの募集支援活動として、農業の魅力と仕事を紹介する「新農業人フェア（7月東京国際フォーラム・10月東京国際フォーラム・11月大阪ハービスホール・1月東京国際フォーラム）」へ出展した。

### 3) 人材コンサルタントを活用したヘルパーの採用・定着の促進

酪農ヘルパー要員の確保と定着化に関して利用組合が抱える具体的な課題の解決に向け、人材コンサルタントによる助言とフォローアップを実施した（4年度対象…1組合）。

### 4) 酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)の実施

搾乳を中心とする酪農家作業の代行業務や新規就農などに向けた技能の蓄積及び向上に資するため、例年、全国7か所の学校や研究(実証)農場等に委託し「酪農ヘルパー専門技術員養成研修(集合研修)」を実施しており、年間100名前後の酪農ヘルパーが参加している。

養成研修の内容は「酪農情勢・搾乳管理技術(泌乳生理)・コミュニケーション能力アップ・牧草の知識と飼養管理・繁殖管理・哺育育成の技術・疾病及び防疫・食品衛生・生乳の流通」など酪農ヘルパーとして必要な基礎知識や専門技術の習得を目的に「1週間コース・2週間コース」に分類して実施している。

前年度はコロナ禍により集合研修の実施をすべて見送ったが、今年度は感染対策を講じたうえで1週間コースを「全酪連酪農技術研究所(福島県矢吹町)3名」、2週間コースを「蔵王酪農センター(宮城県蔵王町)5名」及び「中国四国酪農大学校(岡山県真庭市蒜山)5名」で実施した。また、集合研修の代替として緊急避難的に実施したDVDによる研修(1週間コース相当)については68名が受講した。なお受講修了者には「修了証書」を発行した。

#### 【酪農ヘルパー専門技術員養成研修委託団体】

一財) 北海道農業協同組合学校(北海道江別市)

独法) 北海道立総合研究機構 畜産試験場(北海道新得町)

独法) 北海道立総合研究機構 酪農試験場(北海道中標津町)

ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 訓子府実証農場(北海道訓子府町)

一財) 蔵王酪農センター(宮城県蔵王町)

全国酪農業協同組合連合会 酪農技術研究所(福島県矢吹町)

公財) 中国四国酪農大学校(岡山県真庭市蒜山)

### 【体験実習受入団体】

公財) キープ協会高冷地実験農場(山梨県北杜市)

JA 全農長野 ハヶ岳牧場(長野県南佐久郡)

(順不同)

### 5) 優良事例発表会の開催

当協会では酪農ヘルパー事業の普及・啓発を図るため、事業活動における先進的取り組みや酪農ヘルパーから新規就農を実現した優良事例等を紹介する「酪農ヘルパー事業中央研究会（優良事例発表会）」を平成14年度から実施している。今年度においても感染対策のためweb配信により開催し、視聴者数を含めて119名の参加を得た。

事業取組の事例として「自社にマッチした人財を採用するために(人材コンサルタント・今川大樹氏)」及び「酪農ヘルパーに関して私が考えていること(専任ヘルパー・日夏萌氏)」及び「目指せ!酪農ヘルパー認知度向上!～岩手県の取組～(県団体・奥平真生氏)」の3氏が発表した。

また、酪農ヘルパーから新規就農した「菊池進一郎氏(静岡県富士宮市)」と「米田徹氏(北海道枝幸町)」はビデオ収録放映により新規就農の経緯や将来の目標等について発表した。この模様はYouTube動画として編集し、当協会ホームページから視聴できるようにした。

### 6) 学生インターンシップ(全国型)

酪農ヘルパーの職業認知度の向上やヘルパー要員の不足解消のため、職業選択肢の拡大を図る目的で複数の獣医畜産学系大学に案内し、独立行政法人家畜改良センター及び全農岩手県本部の協力を得て、平成29年度から1週間程度の「学生インターンシップ研修(人数制限あり)」を実施している。今年度は3年ぶりに8月の第4週、5名の大学生の参加を得て実施した。

## 5 会員の動向 (令和4年度)

区分	会員			賛助会員
	中央団体	都道府県団体	合計	
期首	13	44	57	12
期末	13	44	57	12
増減	0	0	0	0

## 6 職員の動向（令和4年度）

区 分	職員(受入出向含む)	臨時職員	合計
期 首	3	2	5
期 末	3	2	5
増 減	0	0	0

(末日付けの退職者は本年度減少に含む)